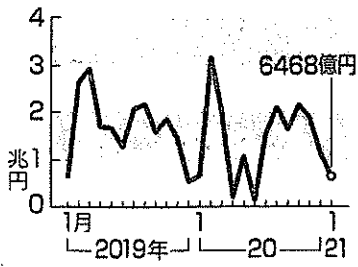


3/9
五社

経常黒字 2.3%減

1月配当・旅行が低迷

財務省が8日発表した1月の国際収支速報によると、海外とのモノやサービスの取引、投資収益の状況を示す経常収支は、前年同月



経常黒字の推移
(20年10月以降は速報値)

比2.3%減の6468億円の黒字となりました。5カ月ぶりのマイナス。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う海外子会社の売り上げ不振などで企業が受ける配当金が減少。旅行収支の落ち込みも響きました。

企業が海外から受ける配当や利子収入などを示す第1次所得収支は、22.1%減の1兆4666億円の黒字となりました。

輸送や旅行などのサービス収支は、4809億円の赤字(前年同月は1422億円の赤字)。コロナ禍で訪日外国人旅行者数が前年同月を大きく下回っており、旅行収支は91.6%減の250億円の黒字でした。

貿易収支は1301億円の赤字(同9904億円の赤字)でした。輸出額は2.7%増の5兆6916億円で、韓国向けの半導体

製造装置や中国向けのプラスチックなどアジアへの輸出額が増加しました。一方、輸入額は、原油安などが影響し、10.9%減の5兆8217億円となりました。